

土佐市 公開シンポジウム

“ここ”からみえる“世界”

地方から生まれる新たな多文化共生とは？

全国的な傾向と同様に外国人住民の増加が続く土佐市では、今年度、多文化共生事業の一環として技能実習生・特定技能外国人への生活実態調査を実施しています。市としての新しい試みである本事業を実施するなかで見えてきたことを、専門家や現場で活動されている方々との対話をとおして、市内外の人たちと共有するシンポジウムを開催します。この場が、地方だからこそできる多文化共生への新しい可能性を発見する機会となればと考えています。ぜひご参加ください。

日時

2024年3月3日(日)
13:15～16:00 (開場12:45)

入場

無料

申し込み

メール kyoryoku.tosa.info@gmail.com
電話 088-852-7679
オンラインフォーム

*当日参加も可能ですが、人数把握のため事前の申し込みをお願いしております。

会場

土佐市複合文化施設

つな一で プルーホール
〒781-1102 高知県土佐市高岡町乙3251-1



第1部

土佐市のトライアルと、これから

技能実習生・特定技能外国人への生活実態調査報告／レクチャー

第2部

“地方”だからこそ多文化共生

レクチャー／パネルディスカッション／Q&A

詳細は、「わくせいPROJECT」のnoteにて随時発信します



阿部 一郎

(公財)箕面市国際交流協会事務局次長を経て、(特活)多文化共生センター理事長、東京外国語大学多言語多文化教育研究センター研究員、全国各地の国際交流協会のアドバイザー等を歴任して現在に至る。大学で教鞭をとる傍ら、バンコクのスラムで暮らす子どもたちへの教育支援活動や国内の子育て支援のNPO活動に参加している。



岩佐和幸

高知大学人文社会科学部教授。専門は農業・食料経済論、アジア経済論、地域経済論。主な著作に「マレーシアにおける農業開発とアグリビジネス—輸出指向型開発の光と影—」(単著 / 法律文化社 2005年)、「アグリビジネスと現代社会」(共編著 / 筑波書房 2021年)がある。今年度の土佐市による技能実習生たちへの調査においてアドバイザーを務める。



キエル イェヘスキエル ハイル ウナム

キエル(左):2019年に日本語留学生として来高し、現在は高知ファイティングドッグスにてスポーツをととした国際交流事業に従事/ウナム(右):2020年に来高し、現在は高知市春野町にあるトマト農家に勤務/ともに高知のインドネシア人コミュニティの一員として地域社会との共生を模索している。



阿部美香・阿部航太

2022年4月に土佐市に移住し、「海外からの技能実習生と地域住民との交流づくり」をミッションに地域おこし協力隊として活動を開始。土佐市において、実習生を含む様々な人たちが集えるスペースの立ち上げを目指す「わくせいPROJECT」を展開し、市内外におけるリサーチや、ワークショップの開催、執筆や講演など活動を広げている。



同時開催

国際お弁当フェア

12:00～13:00

数量限定! 無くなり次第終了
つな一で1Fラウンジにて販売

つな一で
に飲食可能
エリアあり

ベトナム弁当

フォンバインミー

バインミー、生春巻きなどを予定



インドネシア弁当

ハラルハウス

ナシゴレン、カレーなどを予定



主催:土佐市 企画:土佐市地域おこし協力隊 阿部美香・阿部航太 お問い合わせ:土佐市産業振興課 088-852-7679

*本イベントは一般財団法人自治体国際化協会(クリア)のアドバイザー派遣事業を活用して実施しています